二分に考慮した上で進めています。

②新設合併の議員は、合併するとそれまでの市町村が消滅し、原則として身分を失い、町長と同様に合併の日から50日以内に選挙を行うことになります。しかし、一時期、住民の代表である町長も議員も不在となる期間ができ、合併直後の重要な時期に住民の声が反映されなくなるなどの不安が考えられますので、合併特例法で在任特例の規定を設けています。横芝町と光町の合併についても、こうした点等を考慮し、合併協議会において一年間のみ在任特例を適用することに決定しています。

◆山武地域医療センター構想

問 ①県の責任範囲について

②センター構想と東陽病院の関係は

答 ①地域の医療は地域が担う視点に立って、新たに建設される中央病院と成東病院、大網病院との支援病院からなる山武地域医療センターは、基本的に1市8町村により運営することになります。また、県立東金病院が持つ医療機能は、山武医療センターが担うこととなりますので、県から建設費等の助成は考えられますが、建設・運営に当たる事業主体に県が参加することは難しいものと思っています。

②永藤議員の同質問の答弁と同じですが、東陽病院の経営状況も毎年欠損金が生じていますので、経営改善に取り組むことはもちろんですが、今後、医療センターの建設・運営に当たる一部事務組合、また構成をどのようにするかを協議することになっています。

斎藤　隆　議員

◆光町との合併

問 ①合併準備の進捗状況

②来年3月の合併時に式典や行事はどのようなことを行うのか

③合併にあわせた事業について

答 ①合併まで残すところ半年余りとなりましたが、事務事業の調整作業をはじめ、いずれも順調に進んでいます。また、新町の基本となる組織・機構は骨格部分を終了し、事務分掌の調整を進めているところです。

なお、合併準備の進捗状況や日常生活にかかわりのふかい事などを関係団体や住民へお知らせしていく必要があると思いますので、合併協議会とも相談しながら周知に努めてまいります。

②③合併に際し、両町民の一体感を醸成するために合併祝賀会等の記念事業を行う必要があると思いますが、具体的には、新町の町長が決まってから、議会の意見をお伺いし決定したほうがよいと思いますので、現在は閉庁式と開庁式をなるべく簡素に実施してはどうかと考えています。

また、両町商工会青年部が開通前の銚子連絡道路を利用したマラソン大会やウォークラリー、新栗山橋完成に合わせた橋の上での綱引き大会などのイベントを考えているそうですが、両町の団体や町民が一体となりみずから記念イベント等を実施することは最も重要と思いますので、できる限り協力をさせていただきます。

◆ごみ問題について

問 ①生ごみを荒らす野良犬、野良猫、カラスなどの害獣対策について

②資源ごみの収集について

③ごみの減量化推進と、不要物ではなく再利用できる資源「護美」としての啓蒙について

答 ①ネット等を貸与し対処していますが、今回、町として初めて「平成17年度横芝町ごみの収集日について（後期）」の印刷物を全戸配布しました。今後も粘り強く普及・啓蒙に努めてまいります。

②時間を守らず何日か前に収集場所へ持ち込む等の報告を受けていますので、この問題に関しても、さらに周知徹底を図ってまいります。

③ごみをいかに減らすかが地球環境を守る大きな手段であると認識しています。

また、資源ごみの再利用の推進に向け啓蒙を図ってまいります。

◆観光資源としての海岸のPRについて

問 ①屋形海岸に対する海水浴客の反応について

②駐車場、トイレ、シャワーの利用状況

③海岸や公園でのバーベキューや花火

④侵食の進む木戸浜海岸との連携について

答 ①平成12年度から各種観光雑誌に穴場の海水浴場としてPRしています。PR当初に比べ200%の入り込みを数えるようになり、特にサーフィンのお客が年々増えています。

②駐車場は、無料ということもあって海水浴期間中は、ほぼ満車状態です。トイレ・シャワーは、とてもきれいで使いやすいと好評を得ていますが、場所を示す看板が少ないと思いますので、今後、対応してまいります。

③九十九里海岸は県立自然公園の指定を受けていますので、マリンピア栗山川公園もバーベキューは、原則禁止していますが、ここ数年バーベキューをする者が急増し、残飯などが落ちており周辺の生態系に阻害のおそれが懸念されます。花火等のごみは、週1回の公園清掃時に回収していますが、看板等で呼びかけたいと思っています。

④侵食問題は木戸浜だけの問題ではなく、九十九里沿岸全体の問題としてとらえ、今後検討していく必要があると思います。また、県からはマリンピア栗山川公園内での海の家等の許可はできないと聞いています。